

第5回 西条市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成27年1月21日 13:30～

場所：西条市役所小松総合支所 4階大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

○会長

- ・本日の会場は、小松総合支所である。当支所前バス停は、市内で唯一コンビニの中にバス待合所が設けられているという非常に利用者の利便を考えた施設である。
- ・時期によっては、市の観光ポスターの掲示や案内をしている。
- ・委員の皆様にも公共交通のご利用だけでなく、こうしたコンビニとバス事業者との連携により実現できるサービスを見ていただきたい。
- ・本日は、前回の協議会時に新しい委員としてご承認いただきました西条市観光協会にもご出席いただいている。

<西条市観光協会 あいさつ>

- ・今月8日から2月9日までの間、「西条市地域公共交通網形成計画（案）」に対するご意見を広く募集しているところである。既に事務局へは数件のご意見をいただいているようだ。
- ・本日は、前回の協議会の意見を踏まえながら、公共交通網形成計画の進捗状況を説明し、また新たなご意見やご提案があればいただきたいと思っている。

○事務局

- ・本日の出席状況は、西条市観光協会会長関野様の代理で副会長の伊藤様、四国地方整備局松山河川国道事務所黒木様の代理で中野様、にご出席いただいている。
- ・欠席者については、西条市連合婦人会徳永様、アドバイザーの松山大学甲斐准教授、オブザーバーの東予地方局建設企画課日野様である。
- ・協議会規約第7条第2項に基づき、委員の過半数の出席により、この会は成立していることを報告させていただく。

3 協議事項 「西条市地域公共交通網形成計画(案)」進捗状況

○事務局

<資料1 説明>

○愛媛大学 倉内准教授

- ・この計画はどのレベルまでを想定しているのか。ネットワークの概念は書かれているが、数値目標の管理や具体的な再編まではどこまで行うのか。

○事務局

- ・西条市が目指す公共交通の姿を示したものであり、具体的な実施計画までは想定していない。

○愛媛運輸支局

- ・この計画は地域の関係者が智恵を出し合い、持続可能な交通網を構築するもので交通理念的なもので良いと思う。この計画を基に、次に「再編実施計画」「ネットワーク計画」と進んでいく。これらは交通網計画と別物であり、補助金が出る。
- ・この計画でもP D C Aは必要だが、その仕組みがあればよいだろう。

○香川高等専門学校 宮崎

- ・国の補助金をもらうために計画を作るのでは本末転倒だ。むしろ、西条市が目指す姿を協議会を通じて検討してほしいと思う。
- ・4章以降のことを来年度以降しっかりやってもらって、その中で補助が付けばしっかりもらうようにしてほしい。

○会長

- ・行政は補助金をもらうために変なことをしがちだが、そうしたことをないようになりたい。

○愛媛運輸支局

- ・利用促進は、一過性になることなく、しつこくやってほしい。
- ・コンビニへのバス乗り入れ、周ちゃん広場の要望についても、地域の人の貴重なご意見である。こうした声を取り入れて、どんどん改善してほしい。

○会長

- ・この会議に来るために、バスを利用した委員がいると聞いた。

○西条市医師会

- ・私の勤務する医師会の建物から伊予西条駅まで5分くらいである。バスを利用したことがないので、使うまでそわそわしてしまった。本当にバスが来るのか、小松に行くのかと色々不安であった。この不安は、利用したことがないことから来るのだと思う。
- ・伊予西条駅からバスに乗ったら、乗った人は私を入れて2名で、1人は途中で降りてしまったので、小松から今治までだれも乗らなかったのではないか。
- ・今回、J Rでなくバスを利用したのは、バスの方が目的地に近いからだ。利用者は、色々な手段から利便な方を選択するものである。バスは実は利便なものであるので、大変もったいないと思った。バスの利用者がいないのであれば、バス会社にはぜひ乗るようなルートやダイヤを考えて走らせてほしい。

○瀬戸内運輸

- ・以前は鉄道かバスしか乗らなかったのが、今では多くの人が車に乗るようになってしまった。
- ・今治～新居浜は比較的利用が見られるが、料金ではJ Rの方が安い。電化されて便数が増えて、J Rの方が利便が良くなってしまった。料金については考えていく必要がある。
- ・補助金は二の次との意見があったが、当社は補助金なくして運行できない。燃料費も高騰している。

○せとうち周桑バス

- ・当社では、路線ごとに運賃を整理している。1日100人を目安に、年間360万人を目指しているところである。

○香川高等専門学校 宮崎准教授

- ・52ページの図については、もう少しオーソライズする必要はある。

○建設部

- ・当市の都市計画マスタープランでは「拠点連結型都市構造」を目指した道路網を構築す

ることとなっている。

○香川高等専門学校 宮崎准教授

- ・52ページの絵を見る限りでは、バスはバス、鉄道は鉄道という風に分かれて見えてしまう。10年経っても同じなように見えてしまう。
- ・バスは住民に知ってもらうことが必要である。今はバスを知らないのだと思う。
- ・この計画では課題をきちんと整理していただいて、次年度以降の改善につながるようにしてほしい。

○会長

- ・バスから自家用車にシフトしてきたわけだが、潜在需要を開拓したわけではなかった。バスが来るかどうか不安になってしまうという潜在需要に対して、何もしていなかった

○愛媛大学大学院 倉内

- ・私としては、補助金をしっかり活用して、交通弱者を救うことを考えてほしいと思っている。海外には「交通税」という税を財源に、交通を充実させる場合がある。
- ・50ページ以降については、もう少し考えてほしい。数値目標についても必要なのだろうか。目指すべき姿があって、それを実現するための数値目標である。
- ・路線の見直しについても、根拠が薄い印象がある。30ページのアンケートを活用しているが、ほとんどは車利用者であるため、バスの利用とは直結しないのではないかと。
- ・公共交通利用のターゲットと、それに対してどう提供するのか、この辺りについてご検討いただければと思う。

○事務局

- ・50ページ以降は協議が深まっていないので、検討を進めたいと思う。
- ・52ページの図について、地域路線については地域と一緒に考えていくという路線であって、必ずしもこのルートが維持されるわけではない。地域の人と考えて、地域にとって最適な公共交通を考えていきたい。

○愛媛県ハイヤー・タクシー協会

- ・新居浜のデマンドタクシーは、利用者が増えて好評である。
- ・あまりサービスを高めてしまうと、タクシーの利用が減ってしまうため、それに留意しながら進めていきたい。

○瀬戸内運輸労働組合

- ・分かりやすい路線図の整備、バスマップの作成・配布、と書いてあるが、新居浜のようなバスマップを西条市でも作成するということなのか。

○事務局

- ・利用促進を目指し、作成していきたいと考えている。

○瀬戸内運輸労働組合

- ・医師会の方の発言のように、バスに乗ったことがない人が多い。このバスがどこに行くのか、しっかり伝えることが必要であろう。
- ・路線別に番号を付けたら良いのではないかと。

○西条市市民安全部長

- ・この資料は新居浜市が発行したのではなく、協議会が作成したものである。協議会で色々な立場の人の意見を踏まえながら策定したということに意義があると思う。

○愛媛運輸支局

- ・このパンフレットは、国の協働推進事業を活用して作成。利用促進のためにマップ、バ

ス乗り方教室、案内板作成に活用してもらっていたが、打ち切られてしまったので、今後新しい補助制度ができればまたご案内したい。

- ・交通政策基本法には交通に対する基本的な需要が適切に充足されることが重要と明記された。乗合バスも従来とは異なる考え方が必要。これまでは赤字であろうとバス会社任せであったのが、協議会を通じてみんなで支えようという方向になっている。
- ・愛媛県内のバスの売り上げは、150億円であったものが70億円程度になってしまった。固定費が変わらないとすれば、燃料費も上がり、厳しい状況が続いている。

○会長

- ・様々な人の意見を取り入れて、一つの事業をするというのは良いことである。
- ・我々も協議会の名前で事業を行っていききたい。

○香川高等専門学校 宮崎准教授

- ・このパンフレットには、イオンモールの名前が入っている。このように個別企業名を地図に入れるのは、行政ではしにくいだろう。そうした細かいことにも、協議会の意義がある。ここにいるみなさんが、それぞれでできることを協力して、この地域の公共交通の発展に寄与できると良いと思う。
- ・目標値が入っているのは、国から評価が義務付けられているからであろう。目標を明確化して、それを達成できるかという視点で数値を設定してほしい。

4 その他

○事務局

- ・先日、周桑農業協同組合より「周ちゃん広場」へのバス停留所の設置要望が市長宛に提出されている。今後、市内のバス路線等の見直しを行う際には、当要望も踏まえながら利便性がよくなるよう検討をしていきたい。
- ・次に、昨年末に新居浜市地域公共交通活性化協議会が作成している「新居浜市 公共交通ガイドブック」を参考にお配りしている。当市においても、このようなガイドブックを参考にしながら、公共交通の利用促進に向けた取り組みを行っていきたい。
- ・次回の協議会は「西条市地域公共交通網形成計画（案）」の最終協議となる。開催日時を2月23日（月）の午前10時から、本館5階 大会議室で行いたい。ぜひスケジュールの調整をお願いしたい。